

# オランダ

## 国立公衆衛生環境研究所(RIVM)

「バルコのデジタル・ディスプレイ・システムでは、画像を迅速にロードし、さまざまな操作を加え、コントラストを自由に変わります。放射線医が、つねに見落としを恐れる微小石灰化も、Coronis 5MP Mammoの画面では明瞭に見分けることができます」

BOBWest検診センター、放射線医、Petra Bun医師  
オランダ、ライデン



### 大規模な乳がん集団検診プロジェクトにおいて、バルコのディスプレイは診断の標準を確立

オランダの国立公衆衛生環境研究所(RIVM)は2006年、全国で行なう乳がん集団検診を完全にデジタル化する、という大規模な長期計画に着手しました。バルコが参加する共同事業体は、このプロジェクトの複雑かつ大規模な要件を満たすことのできる最高のパートナーであることを証明しました。

このプロジェクトでは、63台の移動検診装置にバルコのCoronis 2MPディスプレイシステムが装備され、20か所の専門検診センターで、放射線医師たちがCoronis 5MP Mammoディスプレイを使っています。プロジェクトにかかわる人々はみな、バルコのディスプレイの素晴らしい鮮明さとハイコントラスト、さらには画像のロードと操作における迅速さと容易さを賞賛しています。バルコは、診断能力をさらに向上させ、できるだけ多くの乳がんを可能な限り早期発見するという基本目標を達成できるよう、RIVMを支援しています。

BARCO

Visibly yours

#### 顧客：

AZグルーピング病院、医療画像化部門  
ベルギー、コルトレイク

#### 課題と今後の可能性：

- ・ 診断精度の最適化
- ・ 効率の向上
- ・ 長期にわたって信頼できるソリューション

#### バルコのソリューションおよびサービス：

- ・ Coronis 5MP Mammoおよび  
2MPディスプレイシステム
- ・ MediCal QAWebによる容易な  
キャリブレーションと精度管理

#### バルコを選んだ理由：

- ・ デジタル・マンモグラフィーのベンチマーク企業
- ・ 信頼できる最先端の品質



オランダの国立公衆衛生環境研究所(RIVM)では、1997年以来、50歳から75歳の女性全員を対象に、乳がんの集団検診の案内を半年に一度ずつ出しています。受けとった女性の約80%が検診に訪れるので、年間およそ100万人が検診を受けていることとなります。RIVMは2006年に、全プロセスのデジタル化に着手しました。この大型プロジェクトDigiBOBでは、バルコのCoronisディスプレイシステムが重要な役割を果たしています。



RIVM がデジタル化を進める理由は多数ありましたが、RIVMにとっての第一のねらいは、最先端のデジタル技術による集団検査によって診断精度を上げ、初期段階での乳がんの検知数を増やすことでした。DigiBOBプロジェクトのリーダーEmile Knops氏は、次のように説明します。「オランダは、国民全体にわたって乳がん集団検診のデジタルデータをアーカイブする世界初の国になるのです」

#### 広範な経験

RIVM は2007年、この大型プロジェクトに必要な複合的なソリューション・パッケージの調達のための入札を告示しました。求められたのは、特製移動装置用の デジタル・マンモグラフィー63台、これらの移動装置および放射線センター用のディスプレイ、ペーパーレスなワークフロー管理システム、そして、大規模な 全国的ストレージシステムでした。バルコ(視覚化)、フィリップス(元請業者)、ホロジック(マンモグラフィー)による共同事業体は、信頼できる高品質な装置を大規模に届けるというRIVMの要件に最もかなうものでした。「可視化に関しては、マンモグラフィー画像分野におけるバルコの広範な経験と、医療機器製品ラインに反映された技術的ノウハウが、DigiBOBプロジェクトに大いに役立つと確信していました」とKnops氏は説明します。

#### 診断精度の向上

集団検診用移動装置には、デジタル撮影された画像を読み取れるように、すべてにバルコのCoronis 2MPディスプレイシステムが備わっています。マンモグラフィー画像は、放射線センターへ毎晩送信され、センターでは2人一組となった放射線医が、専用の高解像度Coronis 5MP Mammoディスプレイを使って各画像を独自に診断します。長期にわたって確実な精度と信頼性を確保するために、ディスプレイには、バルコの革新的なソフトコピー精度管理(QA)ソリューションMediCal QAWebが装備されています。MediCal QAWebは、インテリジェントなI-Guardセンサーと組み合わせられることによって使いやすいウェブベースのツールとなり、キャリブレーションとQAを自動化し集中管理して、プロジェクトの時間と費用を節約します。

#### 検診の標準

「乳がんの集団検診において、精度の妥協はできません。ですから、解像度やコントラストにおいて最高レベルを保証する、最高のモニタが必要でした」と力説するのは、National Expert and Training Center for Breast Cancer Screening(乳がん集団検診における専門家と研修のための国立センター)のG.J. den Heeten教授です。今日、DigiBOBプロジェクトにかかわる放射線医全員が、診断におけるCoronisディスプレイの確実性と生産性を賞賛しています。Petra Bun医師はこう述べます。「臨床用デジタル画像を初めて導入しましたが、誰もが賞賛しています。バルコのシステムがあれば、操作室にただ座っているだけで、画像のほうからやって来ます。画像を迅速にロードし、操作を加え、コントラストを自由に変えられます。たとえば、放射線医がツねに見落としを恐れる微小石灰化も、Coronis 5MP Mammoの画面では明瞭に見分けることができます」

#### より多くを検知

den Heeten教授はこう語ります。「将来を見据えて、乳がんの集団検診プロジェクトの範囲を広げる準備を整えています。オランダ政府は、検診の対象年齢を引き下げるとともに、リスクの高い年齢層グループを絞り込む作業を進めているところです。DigiBOBプロジェクトを通じて、より早期の段階で乳がんを発見できるようになることを願っています。乳がん検診は、ひとえにその目的のために行なっているのです」